

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります、個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

切除可能膵癌に対する術前化学療法の忍容性に影響する因子に関する検討

1 研究の対象

2019年10月から2024年12月の期間に術前GS療法(GEM:1000mg/m² day1, 8, S-1:40mg/m² 1日2回 14日間, 3週間ごとに投与, 2サイクル)及び術後S-1単独療法(S-1:40mg/m² 1日2回 28日間内服, 14日間休薬, 4サイクル)を初回導入した切除可能膵癌患者

2 研究目的

術前GS療法及び術後S-1単独療法を完遂できた患者とできなかった患者に分類し、患者背景を比較することで忍容性に影響する因子を見出すことを目的とした研究を実施するため、研究者が診療情報をもとにデータを選択して、分析をおこない、術前GS療法及び術後S-1単独療法の忍容性に影響する因子の探索や副作用発現状況について調査を行います。

3 研究に用いる試料・情報の種類

試料: なし

診療情報: 診断名、年齢、性別、身体所見、検査所見(血液検査等)、使用薬剤等

4 研究組織

当院単独での研究です

5 情報の提供先・提供方法

上記診療情報等を他施設に提供しません。

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院（☎:代表 011-261-5331 内線 2131）

研究責任者:薬剤部 須藤 大雄

問い合わせ担当者:同上